

*平成23年度臨床検査 精度管理調査結果報告

血液（血算・DIFF）

遠山病院 岩原 実里

*血算（試料・評価方法）

*試料：EDTA2K加CPDA血（新鮮血）
冷蔵保存で配布

*評価方法

◎○△▲：±3SD除外後

（▲除外）集計を行いました。

*単位違い

WBC 2施設

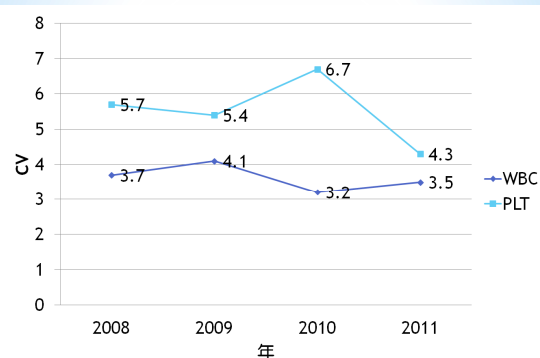
RBC 2施設

PLT 8施設

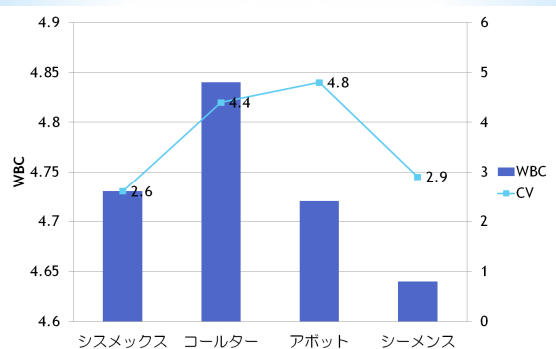
MCH 1施設

HGBで除外施設1施設

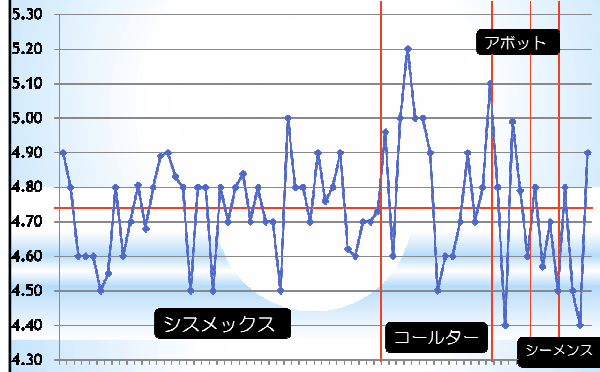
*過去4年間のWBCとPLTの変動係数（CV）の変化



*WBCメーカー別



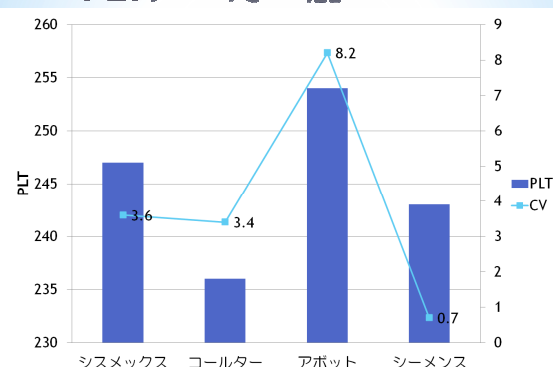
WBC



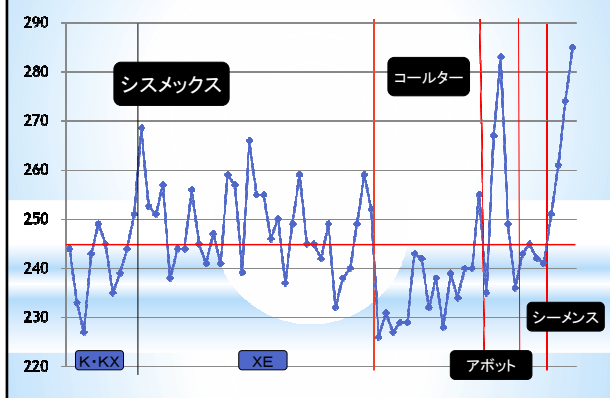
*WBCの測定原理

機器メーカー	測定原理	平均値
シスメックス (K,KX)	電気抵抗法	4.67
シスメックス (XE)	光学方式(半導体レーザーFCM法)	4.75
ベックマンコーリター	電気抵抗法	4.84
アボット	光学方式(DNA染色レーザー多角度偏光散乱法)	4.72
シーメンス	光学方式(2角度レーザーFCM法 POD染色ハロゲンFCM法)	4.64
日本光電	電気抵抗法	4.57
堀場	電気抵抗法	4.90

*PLTメーカー別

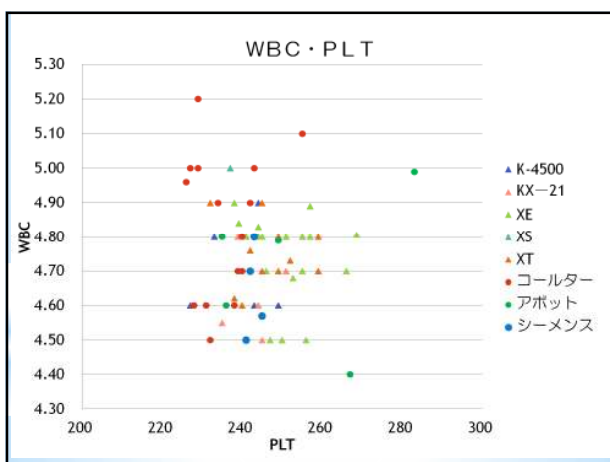


*PLT

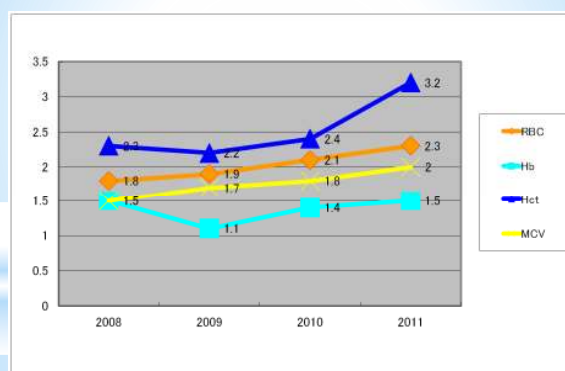


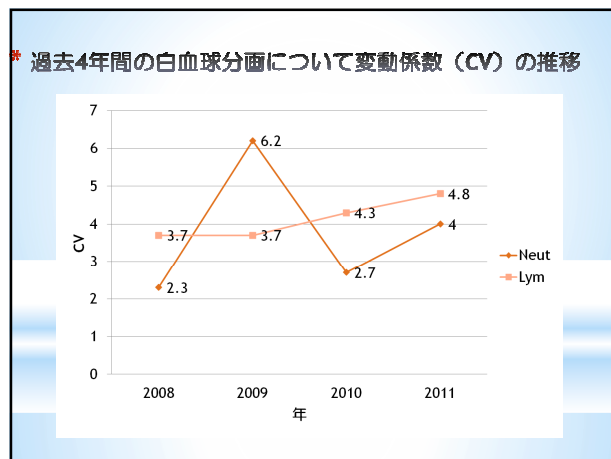
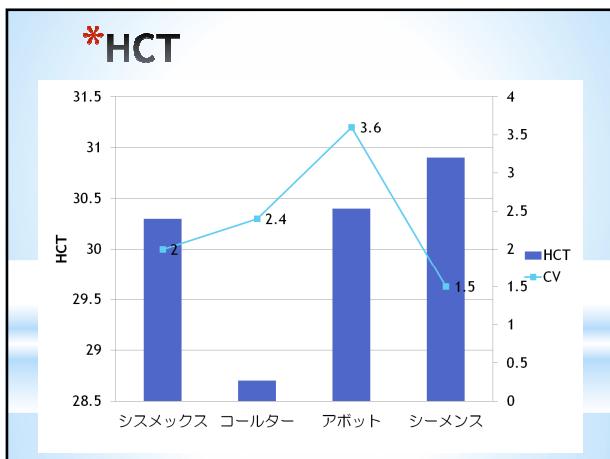
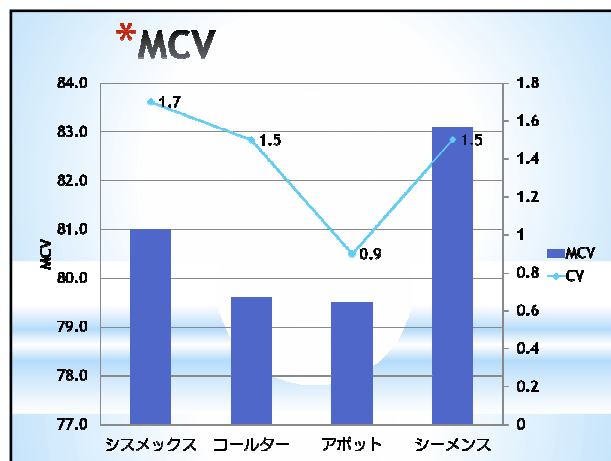
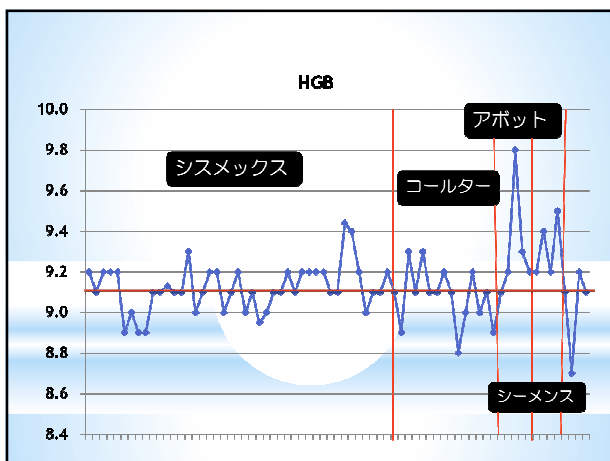
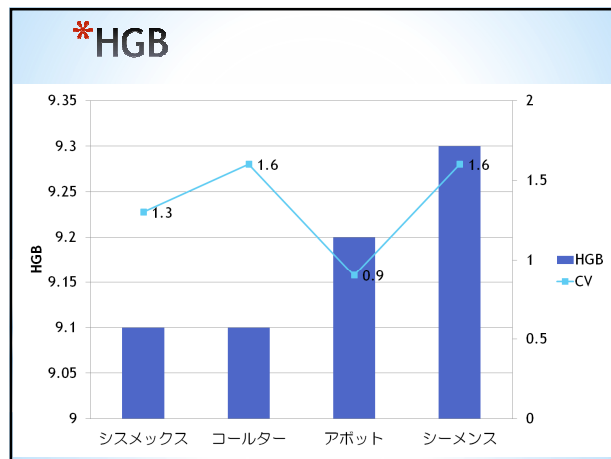
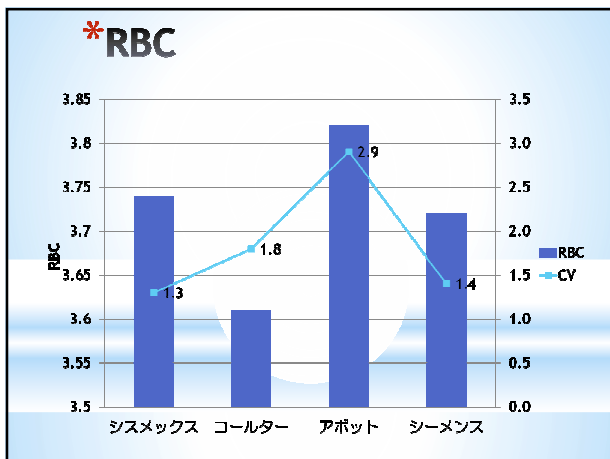
*PLTの測定原理

機器メーカー	測定原理	平均値
シスメックス (K,KX)	電気抵抗法	241
シスメックス (XE)	電気抵抗法、光学方式	249
ベックマンコーリター	電気抵抗法	236
アボット	光学方式、電気抵抗法、免疫学法	254
シーメンス	光学方式	243
日本光電	電気抵抗法	262
堀場	電気抵抗法	285



*過去4年間の赤血球系の変動係数(CV)の推移





まとめ

*今年度の血算において良好な結果が得られました。

更なる収束にむけては、キャリブレーション、いくつかのポイントでのコントロールチェックをお願いします。